

岐阜大学病院 初期研修協力病院 施設紹介



- ### 全国の協力病院・施設
- | | | | |
|---|------------------------------------|------------------------|-----------------------------|
| 愛知県
一宮市立市民病院
総合大雄会病院*
大雄会第一病院
犬山中央病院
がんセンター中央病院
国立病院機構 豊橋医療センター*
一宮西病院* | 岩手県
岩手県立磐井病院
岩手県立千厩病院 | 滋賀県
彦根市立病院* | 福井県
杉田玄白記念公立小浜病院* |
| 東京都
聖路加国際病院 | 島根県
隠岐島前病院 | 鹿児島県
与論徳洲会病院 | |
- *は、たすき掛けとして選択できる病院

● 研修医専用宿舎

平成28年3月に完成した研修医専用宿舎が2棟あり、研修医は家賃無料で住むことができます。場所は病院近隣にあり通勤にも便利です。

設 備
24時間緊急対応/BSアンテナ/CSアンテナ/クローゼット/カメラ付きインターホン/ガスコンロ/エアコン/照明器具/洗髪洗面化粧台/シャワー付きトイレ/浴室換気乾燥機/駐車場/ミニキッチン/室内洗濯機置場/窓シャッター/シャワー/ベランダ/ティンブルキー/ガスLPG/排水:下水道

- ### ● 研修生活をサポートする施設・設備
- ・カフェ・コンビニ**
病院本館にカフェ（タリーズコーヒー）とコンビニ（ローソン）がオープンしました。
 - ・職員用ラウンジ**
平成26年11月開設24時間利用可能。飲み物の提供やマッサージチェア等があります。
 - ・図書室**
医学部図書館(病院隣接)や、岐阜大学総合図書館が利用できます。
 - ・生協**
病院隣接の生協(医学部)では、各種医学書(邦洋書)が取り寄せできます。また、帰省・旅行チケットも同店で購入できます。
 - ・郵便局/ATM**
病院内に、郵便局(病院1F南入り口)とATM(十六銀行・大垣共立銀行・岐阜信用金庫、病院1F中央階段裏)があります。
 - ・売店/喫茶/理美容室/レストラン**
病院内には、食堂(病院隣接1F)、レストラン・売店・理美容室(共に病院2F病棟行エレベーター周辺)があります。

● 医師育成推進センター

医師育成推進センターは、卒前の臨床実習から初期・専門までしっかりサポートをします。各種シミュレーションも豊富で、ゆったりと広い研修医室で研修に取り組むことができます。シャワー室や仮眠室も完備しており、過ごしやすい環境を提供できるよう努めています。

人間性豊かな 医師の育成

あなたの未来を創る環境がここにはあります

令和4年度 臨床研修医募集案内

● 令和4年度研修医募集要項

出願資格	次の要件を満たす者とする。 (1)第116回医師国家試験を受験し、マッチングに参加登録する者 (2)マッチング不参加者・アンマッチ又は、平成16年以降の医師免許取得者 *ただし、(2)に関しては、マッチング終了後、定員に達していない場合に募集を行います。	
募集定員	岐阜大学病院プログラム (地域医療重点プログラム3名含む)	35名
	岐阜大学病院地域医療重点プログラム	3名
	岐阜大学病院周産期プログラム	4名

選抜方法
(1)書類審査
(2)面接試験(10～15分間)

採用試験期間及び場所
期日：岐阜大学病院地域医療重点プログラム……………6月
岐阜大学病院プログラム、岐阜大学病院周産期プログラム……………7月下旬～8月上旬
(詳細は、決定後、岐阜大学病院医師育成推進センターHP上でお知らせ)
場所：岐阜大学医学部附属病院(時間及び場所は願書受付後通知します)

出願書類
(1)所定の選抜試験願書(HPからダウンロード：PDF)
又は市販の履歴書に所要事項を記入し、
写真(縦4cm×横3.5cm、3ヶ月以内に撮影した同一正面上半身脱帽のもの)を貼付する。*希望プログラム及びコースを希望順に記入すること。
(2)成績証明書

出願方法
(1)出願は郵送または持参とする。
(2)郵送にあたっては、封筒に「医員(研修医)応募書類在中」と朱書き、書留とすること。

出願期間
岐阜大学病院地域医療重点プログラム……………4月1日(木)～
岐阜大学病院プログラム、岐阜大学病院周産期プログラム…7月1日(木)～
*採用試験日等について要望がある場合は、医師育成推進センターへご連絡ください。

● アクセス・病院までの交通案内



JR ——— 東海道線「岐阜駅」で下車
名古屋鉄道 — 名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

JR岐阜駅
④バスのりば
岐阜町線 N45系統
C72直行便(学休日運休)
C71清流ライナー(学休日運休)
岐阜大学・病院線C70系統

名鉄岐阜
④バスのりば
岐阜町線 N45系統
岐阜大学・病院線C70系統

名鉄岐阜
④バスのりば
C72直行便(学休日運休)

「岐阜大学病院」で下車
(運賃:330円)



総合力のある人間性豊かな 専門医を目指して

医師育成推進センター長
下畑 享良



医師となって最初に行う初期臨床研修の2年間は、その後の医師としての生き方、考え方を決定する極めて重要な期間と言われています。先輩医師としての私のアドバイスは、この2年間において、さまざまな考えを持った医師に巡り会い、自分の進むべき道、つまり自分の持つ可能性について、広い視野で考えていただきたいということです。岐阜県で唯一の大学病院である岐阜大学医学部附属病院には、通常の医療のみならず、先端医療を実践する医師、グローバルな視野を持った医師、そして新たな医療の創出を目指す医師など、幅広いバックグラウンドをもった医師が多数在籍し、みなさんに多くの選択肢を示してくれると思います。つまりバラエティに富むこそが本院の強みです。

本院は、岐阜県で唯一の大学病院である岐阜県医療の「最後の砦」として、難病・重症・救急患者さんを対象として、高度先進医療に対応する最も専門性の高い特定機能病院です。その卒業臨床研修プログラムには、医師としての成長を大きく促す複数の特色があります。第1に自由選択の期間が長く、それぞれの研修医の希望に沿った柔軟なプログラムを構成できます。それを生かして、初期臨床研修終了後の専門医研修までを見据えた一貫した初期臨床研修を行えるという利点があります。第2にプライマリ・ケア研修にも重点を置き、救急外来研修や総合診療部での一般外来研修を実施しているほか、協力型研修病院と本院での研修を1年ずつ行う「たすき掛けコース(コース2・3・5)」を用意しています。これによって、医療面接や身体診察を自ら行い、病態を把握して診断に必要な検査を選択し、臨床推論を行って適切に診断・治療をしてゆく過程を十分に研修することができます。また、2年間で主として本院で研修するコース1・4に於いても、2年目は協力型研修病院で一定期間研修することが可能です。

第3に各研修医に対して、きめ細やかな指導体制とフィードバックシステムを構築しています。本院の各科の指導医は豊富な知識・経験と優れた技能をもつ専門医です。また医師育成推進センターの専属医師は研修医の相談役にもなります。医師育成推進センターには、十分な広さと設備のある研修医室のほか、内視鏡外科手術トレーニングセンター、テレビ会議システムを用いた症例検討会や講演会を開催できるWebカンファレンス室、仮眠室が併設され、図書館・電子ジャーナルが無料で利用でき、専任事務職員が常駐しています。全員が無料で入居できる研修医宿舎など研修する環境は整っています。2018年度からは給与もアップしています。また本年度からは教育にはさらに力を入れていく予定で、New England Journalを使用した内科症例勉強会、英会話の勉強会、海外学会の無料参加なども開始します。さらに臨床手技動画(Procedures Consult)を導入し、「up to date」の他に「今日の臨床サポート」も追加しました。岐阜県民から信頼され、愛される本院で、ぜひ医師としてのキャリアをスタートしていただき、将来は臨床技能に長けたハイレベルな専門医、研究と臨床を両立するphysician scientist(研究医)など、自分の理想とする医師を目指していただきたいと思います。みなさんと一緒に患者さんのために働くことを楽しみに致しております。

日本の真ん中で医師としての第一歩を踏み出しませんか。 可能性は無限大です！

岐阜県は日本の真ん中に位置する緑豊かな県です。そして歴史の舞台にもなった名所があります。岐阜大学医学部附属病院はその岐阜県の最後の砦としての役割を担う唯一の大学医学部附属病院です。岐阜県はまだ人口当たりの医師数も全国平均を大きく下回り少なく、活躍できる可能性の無限大のところです。その環境と熱意ある指導医のもとで医師としての第一歩を踏み出すことをおすすめします。

「医師となって過ごす初期臨床研修の2年間は、医師人生を決定する」極めて重要な期間です。特に尊敬する医師に巡り会い、仲間と共に真摯に学び、医師として進むべき道を決めてほしいと思います。そのような可能性のある君たちに合わせた自由度の高いプログラムやユニークな指導医たちがあなたを待っています。特定機能病院である大学病院ならではの研修がここではできます。心技体のそろう総合力のある医師、そしてチーム医療ができる医師、患者さんやその家族と寄り添える医師、リサーチマインドも持った医師、医学生から研修医として専攻医へと羽ばたくことができるようスタッフ一同全力でサポートします。“百聞は一見に如かず”です。ぜひ当院に見学に訪れて先輩研修医や指導医の生の声を聞いていただき、当院での研修を始めましょう。“GO TO GIFU！”

SUPPORT あなたは10年後どんな医師になりたいですか？

皆様もご存知のように平成30年度より日本専門医機構による新しい専門医制度が開始されました。従来の学会による専門医認定から第3者機関である専門医機構により専門医が認定されることとなります。当大学病院では、各診療科主導により19の基本領域の専門医プログラムすべての領域で基幹施設となっております。加えて基本領域の専門医取得後に目指すsubspecialty専門医の研修プログラムが整備されています。現在、当院のプログラムに今年度より17領域76名が専攻医として登録しており、岐阜県下最大の専門医育成施設です。従いまして当部門では、専門医を志す若手医師にわかりやすいように、どの診療科がどのような専門医研修プログラムを準備しているかをお知らせする役割を担っています。希望される専門医に関して診療科のプログラム担当者適切に情報交換ができるように橋渡しします。お気軽にアクセス頂ければ、先生方の今後のキャリアパスについて親身にご相談に乗れるかと思っておりますので、よろしくご活用いただければ幸いです。



専門医研修支援部門長 岩田 尚

人間性豊かな 医師の育成

基本の習得から先進医療の経験まで バランスよく研修を行います。

大学病院の研修の特色の1つに協力病院とのたすき掛けコースがあります。大学病院でのアカデミックでかつ高度な医療の経験、多数の協力病院である市中病院でのプライマリ研修を経験できます。大学病院の中でも救急外来研修は充実してきました。

研修医の声に基づく研修を実現します。

研修医とのヒアリングを行い、救急外来研修を改変し、検査部研修を導入してきました。

研修スケジュールは研修医のニーズを尊重して計画しています。

社会からの求められる役割を自覚し 自ら研鑽できる医師を育成します。

自主性をもち、自分のニーズに応じた研修スケジュールが可能です。我々は、岐阜県の地域医療の中核病院、最後の砦としての大学病院の診療にあたる自覚を身につけ、患者中心の医療を実践できるように指導します。

● 岐阜大学病院プログラムを受けた先輩研修医からのメッセージ

コース3 Y.M 先生

私はコース3を選択しました。市中病院で初期対応や救急外来の経験も積みたいし、大学病院も研修で経験したいと思っており、共に満たせるプログラムでした。大学病院は上級医の先生が多く、たくさん声をかけていただけたり、各科の先生が講義をしてくださる研修医セミナーもあり、充実した研修生活を送ることができました。

※1年目：中濃厚生病院 2年目：岐阜大学病院

コース4(急性期) K.K 先生

私は岐阜大学病院の急性期コースでの初期研修を終え、今は救急専攻医として高次救命治療センターで研鑽を積んでいます。急性期コースの特徴は急性期診療に携わるために必要なことを学ぶため、複数の協力病院での研修やドクターヘリなどの研修もできる点です。救急医としてのスタートダッシュができるこの上ないチャンスです。ぜひ話を聞きに来てください！

コース1 K.S 先生

私は岐阜大学出身ではありませんが、丁寧に指導して下さる先生が多く、安心して研修生活を送ることができました。また、ローテートする科を自由に組み合わせることがきるのも魅力の1つだと思います。岐阜大学以外の大学出身の方、まだ将来が決まっていない方にオススメの研修プログラムです。

コース1 N.A 先生

岐阜大学病院の長所は希望すれば研修科を変えられる所です。途中まで自分の専門科が曖昧でしたが、研修中に大まかに決まってからでも変えられたので、自分の未来を常に考えながら研修をすることができました。また経験値は確かに少ないかもしれませんが、それ以上に1人1人患者さんと向き合い、考え方や基礎を学ぶには十分な研修場所だと思います。

コース1 A.Y 先生

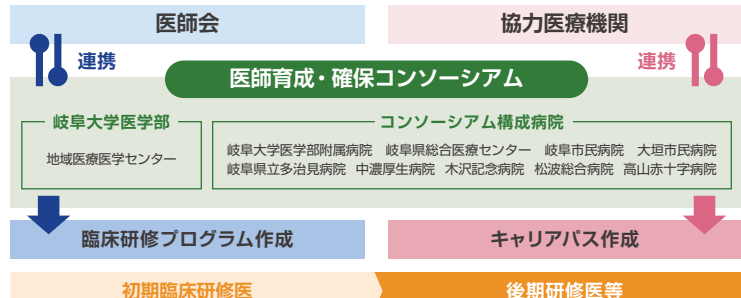
研修医室は広くてきれいです。研修医同士で、採血・ルートの取りあいをしたり、縫合結紮など手技の上達に切磋琢磨しています。先輩から、日常診療の分からないことや進路相談など、たくさんアドバイスをいただきました。宿舎は新築で快適で無料です。

専門医取得までのサポート体制 岐阜県医師育成・確保コンソーシアムについて

岐阜大学医学部と県内9構成(=幹事)病院が中心となり、医師育成を通じた地域医療の確保を目指して結成された協議会です。コンソーシアムでは、県内の医療機関での臨床研修と、その後のキャリアアッププログラムを提供し、医師が安心して自分自身の成長を実感できるような医療現場となるよう、施設間での調整を行っています。

WEBサイトはこちら → http://www1.gifu-u.ac.jp/~dr_conso/

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム



※現在の各診療科等のプログラムについては、医師育成推進センターHPから、専門研修プログラムを参照

岐阜大学医学部附属病院の3つのプログラム

● 基本研修ローテーション例

1年目	必須科目				
	内科6か月	救急3か月	産婦1か月	小児1か月	精神1か月
2年目	必須科目	選択科目			
	地域医療1か月	外科2か月	選択科目9か月		

● 病院が定める必須科目

2か月間	外科系	外科	第1外科	1か月×1科
		第2外科		
		整形外科	0.5か月×2科 または 1か月×1科	
		脳神経外科		
		眼科		
		耳鼻咽喉科		
		皮膚科		
泌尿器科				

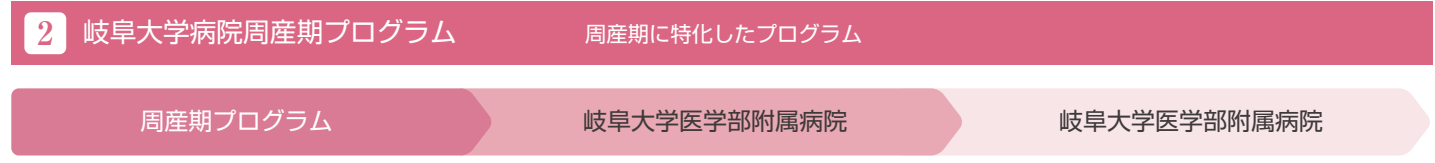
研修診療科の変更が原則1か月前まで可能。自由選択期間が9か月



※1 コース2のたすき先に岐阜県総合診療センターと岐阜市民病院は選択できません。
※2 外科系選択科目：心血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科・産婦人科・整形外科・脳神経外科・眼科・耳鼻咽喉科・形成外科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科・疼痛治療科
※3 東濃地区(岐阜県立多治見病院)から選択。協力病院と大学病院のどちらの研修を先に行うか選択可能。

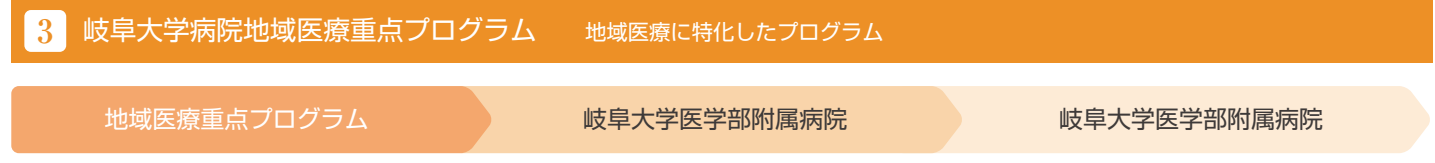
● プログラムの特徴

協力型病院と連携したプライマリ・ケア研修と、専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制と岐阜大学に特徴的なセンター医療システムを活用している点が特長に値する。柔軟な診療科選択や希望変更が可能であり、あらゆる研修ニーズに通年で応えられる。



● プログラムの特徴

協力型病院と連携したプライマリ・ケア研修と認定医・専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制とセンター医療システムを活用している点に特色がある。一般研修に加えて、周産期ケアができる小児科医、新生児ケアができる産科医の育成を目指す。



● プログラムの特徴

協力病院と連携したプライマリケア研修と専門医の取得を同時に視野にとらえたオーダーメイド構成になっており、県内のみならず、県外離島の医師少数区域での地域医療研修を12週以上行うことで、地域医療の安定的確保を実施する。また、希望者には海外での短期研修を実施する。

● 臨床研修目標の概要

必修科選択により先ずプライマリ・ケアに関する研修の到達目標をクリアし、指導医評価を行う。次いで希望する診療科を自由選択して専門性の向上を図り、専門研修プログラムに前倒的にリンクさせる。希望者を対象として初年度から専門医の取得を目指した平行型の研修をプロトコールに従い実践する。